

Word 2019 クイックマスター基本編 追補情報

Microsoft Office 更新プログラムの適用状況によるバージョンの違いや、ライセンスの種類、解像度等の環境設定によって、コマンドの名称や画面の見え方等が本書に記載のものと異なる場合がございます。本書に沿ってアプリケーションを操作する際に、記載の内容と異なる箇所がございましたら、適宜読み替えて学習を進めてくださいますようお願いいたします。

本書の発行後、アプリケーションの更新によって変化のあった箇所を以下に掲載いたします。以下の内容は、Word 2019 で 2022 年 12 月に検証したものです。

■ スタート画面・Backstage ビュー・文書ウィンドウの表示に関すること

- ・ スタート画面リニューアル
- ・ Backstage ビューリニューアル
※操作手順にも変更あり
旧：[ファイル] タブをクリックすると、Backstage ビューの [情報] または [開く] が表示される
新：[ファイル] タブをクリックすると、Backstage ビューの [ホーム] が表示される
- ・ 改行記号やタブ記号などの大きさが文字サイズに合わせて変わるよう仕様変更

■ リボン・ボタン等の表示に関すること

- ・ リボン上の各グループ右下にあるダイアログボックスや作業ウィンドウなどを開くボタンのデザイン変更
- ・ リボン上のボタンの一部に表示される「▼」のデザイン変更
- ・ リボン上のボタンの大きさの変化（文字+アイコンのボタンがアイコンのみになるなど）
- ・ 新しいボタン・グループ

■ アイコン等のデザインに関すること

- ・ Word を含む Office アプリケーションや Windows 標準アプリケーションのアイコンおよびファイルのアイコンのデザイン変更

■ コンテキストコマンドの表示に関すること

第 1 版発行時 (2019 年 4 月)	2022 年 12 月時点
[ヘッダー/フッターツール] の [デザイン] タブ	[ヘッダー/フッターツール] の [ヘッダーとフッター] タブ
[表ツール] の [デザイン] タブ	[表ツール] の [テーブルデザイン] タブ
[描画ツール] の [書式] タブ	[描画ツール] の [図形の書式] タブ
[図ツール] の [書式] タブ	[図ツール] の [図の形式] タブ
[グラフィックツール] の [書式] タブ	[グラフィックツール] の [グラフィックス形式] タブ

■ ポップヒントの名称に関すること

区分	変更内容例
セル内の文字列の配置	旧：[両端揃え (上)] → 新：[上揃え (左)]
	旧：[両端揃え (中央)] → 新：[中央揃え (左)]
	旧：[両端揃え (下)] → 新：[下揃え (左)]

■ Microsoft IME の設定に関すること

- ・ Microsoft IME メニューの変更
- ・ ローマ字入力かな入力の切り替え、単語の辞書登録の方法の変更

■ その他の変更箇所

区分	該当箇所	変更内容
動作	p.26 2-2 日本語入力システム POINT「●ローマ字入力とかな入力の切り替え」	旧：～ <u>あ</u> ボタンを右クリックして表示されるメニューで「ローマ字入力かな入力」をポイントし、「かな入力」をクリックして～。 新：～ <u>あ</u> ボタンを右クリックして表示されるメニューで「かな入力」をポイントし、「有効」をクリックして～。
動作	p.26 2-2 日本語入力システム POINT「●常にかな入力を使用する場合」	旧：～ <u>あ</u> ボタンを右クリックして表示されるメニューから「プロパティ」をクリックして表示される「Microsoft IME の設定」ダイアログボックスにある「詳細設定」ボタンをクリックします。 「Microsoft IME の詳細設定」ダイアログボックスが表示されるので、「全般」タブの「入力設定」の「ローマ字入力かな入力」で「かな入力」を選択します。 新：～ <u>あ</u> ボタンを右クリックして表示されるメニューから「設定」をクリックして表示される「Microsoft IME」にある「全般」の「ハードウェアキーボードでかな入力を使う」をオンにします。
動作	p.27 2-2 日本語入力システム MEMO「●言語バーを表示させる方法」	旧：④～「地域と言語」をクリック。 ⑤～「キーボードの詳細設定」をクリック。 新：④～「言語」をクリック。 ⑤～「キーボード」をクリック。
動作	p.33 2-3 文字の入力と変換 POINT「●予測入力機能の使い方」	旧：「Microsoft IME の設定」ダイアログボックスから、～。 新：「Microsoft IME」の「全般」から、～。
動作	p.34 2-4「単語の辞書登録」 手順 2	旧：「単語の登録」をクリック。 新：「単語の追加」をクリック。
動作	p.35 2-4 単語の登録 POINT「●登録した単語の削除方法」	旧：①～表示されるメニューから「ユーザー辞書ツール」をクリック。 新：①～表示されるメニューから「設定」をクリックすると表示される「Microsoft IME」の「学習と辞書」で「ユーザー辞書ツールを開く」をクリック。
動作	p.49 2-8「操作アシストの操作方法」	旧：手順 1 「実行したい作業を入力してください」をクリック。 手順 3 「選択」－「すべて選択」をクリック。 新：手順 1 「何をしますか」をクリック。 手順 3 「すべて選択」をクリック。
動作	p.50 2-8 操作アシストの使い方 MEMO「●スマート検索」	旧：「スマート検索」 新：「検索」
動作	p.50 2-8 操作アシストの使い方 MEMO「●ヘルプの使い方」	旧：① 「実行したい作業を入力してください」にキーワードを入力し、「○○のヘルプを参照」をクリック。さらに詳細を選択するメニューが表示される場合は、その中から目的に合う候補をクリックするか、「○○のその他の結果」をクリック。 新：① 「何をしますか」にキーワードを入力し、選択するメニューが表示される場合は、その中から目的に合う候補をクリックするか、「○○に関するその他の検索結果」をクリック。
動作	p.176 7-2「画像の挿入」 手順 3	旧：[図] グループの「ファイルから」ボタンをクリック。 新：[図] グループの「画像を挿入します」ボタンをクリック。 「画像の挿入元」の「このデバイス...」をクリック。

※最新の追補情報はウイネットホームページ (<https://wenet.co.jp>) で公開しております。

[商品カテゴリー] → [Microsoft Office] → [2019] を選択し、該当書籍の詳細ページをご確認ください。

株式会社ウイネット